

平成30年1月25日

平成29年度 四国防災トップセミナーの開催

確実に来る大規模災害に向けて

～被災自治体と災害報道の最前線より学ぶ～

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、首長就任直後に東日本大震災を経験され6年、被災者の一日も早い住宅再建を復興の重点課題として、心のケア、心の復興に取り組まれている **陸前高田市長 戸羽 太氏**、また東日本大震災をはじめ国内外の災害現場を取材、各地で起きている豪雨災害の減災報道に取り組んでこられた**NHK副部長（前災害担当記者）中村 淳氏**にご講演をいただきます。

- 開催日時 平成30年2月1日（木）14：30～17：15
- 場 所 国土交通省四国地方整備局 13F災害対策室
香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎（北館）13階
- 参加者 四国内の95市町村長、四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバー 他
- 主な内容（予定）
 - ◆ 基調講演【1部】
『災害時に行政がなすべきこと ～東日本大震災の経験・教訓から～』
岩手県 陸前高田市長 戸羽 太 氏
 - ◆ 基調講演【2部】
『防災・減災のための報道 公共メディアの使命』
NHK副部長（前災害担当記者）中村 淳 氏
- 主 催 国土交通省 四国地方整備局
- 取材対応 本セミナーは開始から終了まで、カメラ取り・傍聴ともに可能です。取材される場合は、平成30年2月1日12時までに、下記問い合わせ先に連絡下さい。

・この施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」及び「四国地震防災基本戦略」の取り組みに該当します。

・四国防災トップセミナーは、国土強靱化基本計画等を踏まえ実施するものです。

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

強く、しなやかなニッポンへ

【参考】◆ 国土強靱化関連イベントに関するHPは、下記のとおり
http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/event.html

問 い 合 せ 先

国土交通省 四国地方整備局 企画部
総括防災調整官 植松 真二（内線 2119）
防災課長 坂井 剛（内線 3411）
TEL (087) 851-8061（代表）
(087) 811-8310（ダイヤルイン）

確実に来る 大規模災害に向けて

～被災自治体と災害報道の最前線より学ぶ～

平成30年 **2** 月 **1** 日 (木)
14:30～17:15

開催場所 国土交通省 四国地方整備局 災害対策室
(高松サンポート合同庁舎(北館)13階)

参加者 四国内の95市町村長、
四国南海トラフ地震対策戦略会議構成員他

主催 国土交通省 四国地方整備局

写真：奇跡の一本松（保存後） 提供：陸前高田市

四国防災トップセミナーは、四国内の市町村長と四国南海トラフ地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換を通じて見識を深め、地域防災力の向上を目指すことを目的に実施しています。

今年度は、首長就任直後に東日本大震災を経験され6年、被災者の一日も早い住宅再建を復興の重点課題として、心のケア、心の復興に取り組まれている **陸前高田市長 戸羽 太 氏**、また東日本大震災はじめ国内外の災害現場を取材、各地で起きている豪雨災害の減災報道に取り組んでこられた **NHK 副部長（前災害担当記者）中村 淳 氏**に御講演いただきます。

本セミナーを通じて大規模災害に関する知見を広げ、今後の災害への備えに繋げていただきたいと思います。



開 会

1. 開会挨拶

国土交通省 四国地方整備局長 平井 秀輝

2. 基調講演（第1部）

災害時に行政がなすべきこと
～東日本大震災の経験・教訓から～
陸前高田市長 戸羽 太 氏

3. 基調講演（第2部）

防災・減災のための報道 公共メディアの使命
NHK副部長（前災害担当記者） 中村 淳 氏

閉 会

東日本大震災

復旧・復興

災害・減災報道

確実に来る大規模災害に向けて

～被災自治体と災害報道の最前線より学ぶ～

基調講演
(第1部)

災害時に行政がなすべきこと ～東日本大震災の経験・教訓から～

陸前高田市長
戸羽 太 氏



市長就任直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めており、「世界に誇れる美しいまちの創造」を一番のコンセプトに陸前高田市独自の「ノーマライゼーション※という言葉のいないまちづくり」を目指している。

大規模災害を経験して気付いた、発災時や復旧・復興の段階で行政がなすべきことについて、実体験に基づいた話から、東南海・南海地震への備えについて改めて考えるきっかけとする。

※：障がい者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なことであり本来の望ましい姿であるとする考え方

1965年 神奈川県足柄上郡松田町生まれ
東京都町田市育ち
1995年 会社員を経て陸前高田市議を務める
2007年 助役に就任、その後副市長を務める
2011年 市長選に初出馬、初当選を果たす

【主な著書】

- 『被災地の本当の話をしよう
～陸前高田市が綴るあの日とこれから～』
- 『がんばっぺし!ぺしぺしぺし!
陸前高田市が綴る"復興を支える仲間"との732日』

基調講演
(第2部)

防災・減災のための報道 公共メディアの使命

NHK副部長
(前災害担当記者)
中村 淳 氏



東日本大震災では、被災者にアンケート調査をする取材班のとりまとめを行い、苦しみながら立ち上がろうとする人々をニュースや番組で放送。その後、報道局社会部の災害担当デスクとして、減災報道に取り組んできた。災害報道の役割とは何か、危機感を住民に我が事と受け止めてもらうためにはどうすればよいのか、公共メディアNHKの現場の取り組みを報告する。

1971年 愛知県生まれ
1996年 NHK入局～北海道釧路放送局
2002年～ 報道局社会部 (東京)
主に災害や国土交通省系の問題取材
2012年～ 報道局社会部・災害担当デスクに
(今年から人事局で採用などを担当)

【主な番組】

- NHK クローズアップ現代
"それでも生きる" ～被災地3000人の声～ (2012)
- NHK スペシャル
MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃
第2集 スーパー台風 (2014)
震度7何が生死を分けたのか
～埋もれたデータ 21年目の真実～ (2016) など